

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●柴山雄一騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

8月23日(日)の2回札幌4日・第3レースでエールプレジールに騎乗した柴山雄一騎手(栗東・武幸四郎厩舎)は、この騎乗で史上42人目、現役では28人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●元騎手・元調教師の伊藤正徳氏が逝去

8月20日(木)、元騎手・元調教師の伊藤正徳氏が逝去されました(71歳)。1968年に騎手としてデビューした伊藤氏は、ラッキールーラで1977年東京優駿(日本ダービー)、メジロティターンで1982年天皇賞(秋)を勝利するなどJRA通算2115戦282勝の成績を残して1987年に引退。翌1988年には厩舎を開業し、エアジハードで1999年の安田記念とマイルチャンピオンシップを制するなど、調教師としてはJRA通算6175戦518勝の成績をあげ、2019年に定年のため引退していました。

●エポカドーロらの競走馬登録抹消

2018年皐月賞(G I)の勝ち馬エポカドーロ(牡5歳/栗東・藤原英昭厩舎/JRA通算10戦3勝)、2018年目黒記念(G II)の勝ち馬ウインテンダネス(牡7歳/栗東・杉山晴紀厩舎/JRA通算40戦6勝)、2015年函館スプリントS(G III)の勝ち馬ティーハーフ(牡10歳/栗東・西浦勝一厩舎/JRA通算51戦7勝)、2017年シリウスS(G III)などの勝ち馬メイショウスミトモ(牡9歳/栗東・南井克巳厩舎/JRA通算66戦7勝・地方4戦1勝)、2018年七夕賞(G III)などの勝ち馬メドウラーク(牡9歳/栗東・橋田満厩舎/JRA通算49戦9勝)は、8月21日(金)までに競走馬登録を抹消されました。エポカドーロは北海道新ひだか町のアロースタッド、ウインテンダネスは北海道新冠町のアサヒ牧場で種牡馬となり、メイショウスミトモはJRA馬事公苑、メドウラークは北海道安平町のノーザンファームで乗馬となる予定。ティーハーフも乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●騎手の新型コロナウイルス感染のため川崎、船橋競馬が中止に

8月24日に船橋所属の騎手1名が新型コロナウイルス陽性となったことを受け、南関東4競馬場所属騎手全員のPCR検査を実施したところ、更に船橋所属騎手5名の感染が確認されました。そのため、8月24日～26日の川崎競馬、8月31日～9月4日の船橋競馬が開催取り止めとなりました。8月31日～9月2日は川崎で、8月24日～26日分の代替開催が実施されます。新型コロナウイルスに起因する国内での競馬の開催取り止めは、初めてのケースです。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド門別の結果

2020ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド門別は8月20日に行われ、第1戦は木幡育也騎手(美浦)、第2戦は小野楓馬騎手(北海道)が優勝しました。

●黒潮盃は川崎の伏兵インペリシャブル【各地の主要3歳重賞】

黒潮盃(8月19日、大井、1800^円)は、4番手から直線に入って間もなく先頭に立った10番人気のインペリシャブル(牡、父エスポールシチー)が、コバノリッチマン(北海道)を6馬身引き離し、2歳時の鎌倉記念に次ぐ重賞勝ち。ひまわり賞(8月9日、盛岡、1800^円、牝馬)は、2番人気のマルケイマーヴェル(父スマートファルコン)が、2番手追走から3、4コーナー中間で先頭に立って押し切りました。ロータスクラウン賞(8月16日、佐賀、2000^円)は、4～5番手から差を詰めた2番人気の高知からの遠征馬マイネルヘルツアス(牡、父アイルハウアナザー)が直線入口で抜け出して優勝。単勝1.4倍の圧倒的支持を集めたミスカゴシマは3着に敗れています。※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1インターナショナルS～ガイヤースが逃げ切る

8月19日にイギリスのヨーク競馬場で行われたG1インターナショナルS(3歳上、芝2050^m)は、ガイヤース(牡5歳、父ドバウイ、C.アップルビー厩舎)がG1・6勝馬マジカルに3馬身差をつけて逃げ切り勝ち。これで今年2月のG3ドバイミレニアムS(芝2000^m)、6月のG1コロネーションC(芝2410^m)、7月のG1エクリプスS(芝1990^m)に続く4連勝としました。

●G1ヨークシャーオークス～ラヴがG1を3連勝

上記インターナショナルSの翌日に同競馬場で行われたG1ヨークシャーオークス(3歳上牝、芝2370^m)は、アイルランドからの遠征馬ラヴ(3歳、父ガリレオ、A.オプライエン厩舎)が5馬身差で圧勝。G1英1000ギニー(芝1600^m)、G1英オークス(芝2410^m)に続くG1・3連勝を果たしました。

●G1パシフィッククラシック～マキシマムセキュリティが完勝

米国カリフォルニア州のデルマー競馬場で8月22日に行われた、G1パシフィッククラシック(3歳上、ダート2000^m)はマキシマムセキュリティ(牡4歳、父ニューイヤーズデイ、B.バファート厩舎)が逃げて3馬身差で完勝。昨年7月のG1ハスケル招待S(ダート1800^m)から続く連勝を6に伸ばしています。